

### 笑顔があふれる元気なまち ～しあわせ実感 かかみがはら～



各務原市長 浅野 健司

各務原市は岐阜県の南部、濃尾平野の最北端に位置し、市の南部には愛知県との県境となる大河木曾川が悠々と流れ、北部には田園風景や山並みが広がるなど、豊かな自然に囲まれた都市です。市の中心部には、現存する国内最古の飛行場「航空自衛隊岐阜基地」を有し、古くからこの地に飛行場があることで、航空機産業に関連する多くの企業が集積するなど、「ものづくりのまち」として発展してきました。

春になると、新境川堤の両岸に約2キロにわたって、1,200本の桜が咲き誇ります。日本さくらの会が選定する「桜の名所100選」にも選ばれており、春の風物詩として多くの皆様にお楽しみいただいています。

当市では、「笑顔があふれる元気なまち」を将来都市像に掲げ、すべての人が生きがいを持っていきいきと輝き、人生を謳歌し、安全・安心に暮らすことができるまちづくりを進めています。人口減少、少子高齢化が進展する中、10年、20年先を見据え、市民の皆様や地域、企業、行政の「オール各務原」で、さまざまな課題に果敢に挑戦をしつづけていきます。

さて、当市の国民健康保険におきましても、

さまざまな事業を展開しています。

特定健診につきましては、平成27年度より通院中の方の健診結果を医療機関を通じて情報提供いただく事業を県内で最初に開始しました。また、受診勧奨通知の内容を年齢や受診歴などに応じて分かりやすくする工夫をしたり、夜間の電話による受診勧奨を行うなど、新たな取り組みにより、着実に受診率は向上しています。

そして、平成30年度からは市医師会の協力のもと、糖尿病性腎症重症化予防事業をスタートさせ、被保険者の健康の保持・増進と医療費の適正化を図っています。

保険料の収納につきましても、従来からのコンビニ収納やクレジット収納に加え、令和2年度からスマートフォンを利用した電子納付を導入し、保険料の支払方法の選択肢を増やし、被保険者の利便性の向上と収納率向上の努力を重ねています。

平成30年度から国民健康保険の県単位化が始まりました。令和2年度は「岐阜県国民健康保険運営方針」の見直しの年であり、より一層、岐阜県及び県内市町村と一致団結して、国民健康保険制度の安定的かつ円滑な運営につなげてまいります。

#### 各務原市のあらまし

#### DATA(令和2年4月1日現在)

面積	87.81km <sup>2</sup>
世帯数	60,515世帯
人口	147,413人
国保加入世帯数	18,699世帯
国保世帯加入率	30.9%
国保加入者数	30,287人
国保加入率	20.5%



#### 市章

各務原市の「各」の字を図案化したものです。



市の花  
つつじ



市の木  
松

各務原市

